

TTC提案山行実施記録

2016 年 10 月 17 日 報告者:SK

山行名	奥志賀高原(焼額山 2,006m・白樺苑路・奥志賀溪谷路)	長野県
施日	2016 年 10 月 15 日(土)～16 日(日) 1泊2日 公共交通機関利用	
天候/参加人員	天候: 両日とも快晴 レベル: ★☆ 参加者10名(男4名/女6名)	
スタッフ	CL/計画: SL: 会計: 救護: 写真: スタッフ名削除	
参加者	参加者氏名削除	
費用	事前購入交通費 新宿駅～長野駅(往復指定特急券): @14,220 円 集金@12,350 円 支出@12,350 円(以下支出明細) 交通費 長野～奥志賀高原(ながでん鉄道・バス2DAYフリー切符): @3,200 円、 Gondola代: @800 円 宿泊代 1泊2食@7,400 円 その他 入浴代(タオル・ジュース付き)@850 円、電話代 1,000 円(@100 円)	
所用時間	行動時間(計画/実行) 10月15日(4:40/4:35) 10月16日(5:00/4:00)	

コースタイム

◆10/15(土) 累積標高差(登り 220m・下り 680m)歩行距離 7.0 km

本厚木==新宿==大宮(かがやき503号)=長野==湯田中==蓮池==奥志賀ゴンドラ前==焼額山ゴンドラ駅・
 5:52 6:41 6:58 7:23 7:46 8:43 9:04 9:54 10:00 10:31 10:40 11:05 11:20 11:30 12:05
 焼額山稚児池・焼額山ゴンドラ駅・(リンドウの丘散策)・白樺苑路入口・白樺池・白樺苑路入口・奥志賀高原ホテル==
 12:25 12:30 12:50 14:40 15:00 15:05 15:30 15:35 16:05 16:35
 スポーツハイム奥志賀(宿泊)
 16:40

◆10/16(日) 累積標高差2か所計(登り 240m・下り 340m)歩行距離2か所計 5.4 km

スポーツハイム奥志賀==奥志賀林道(無名地点標高 1,240m)・雑魚川取入口・大滝(おおぜん)・三段の滝・ハーモニカの滝
 7:45 8:05 8:15 8:35 8:40 9:20 9:30 10:00 10:05 10:25 10:30
 ・清水小屋跡(標高 1,200m)=スポーツハイム奥志賀=蓮池・(琵琶池周辺めぐり)・ホテル志賀サンパレー(幕岩温泉・入浴)
 11:05 11:15 11:40 12:54 13:21 14:30 16:03
 ==湯田中==長野==大宮==新宿==本厚木
 16:30 16:43 17:32 17:55 18:54 18:59 19:30 19:38 20:26

コース概要・特記事項・反省事項等

10/15(土)

奥志賀ゴンドラ前でバスを降り、隣設する今宵の宿「スポーツハイム奥志賀」に余分な荷物をデポして紅葉散策の準備を整えた。
 湯田中駅からバスで高度を上げるに連れて、車窓からは遠くに槍ヶ岳や鹿島槍ヶ岳、白馬岳などの北アルプスの主峰が顔を見せ、意外と近くには戸隠山、高妻山、妙高・火打山が揃って並んでいた。天気は快晴。紅葉は少しだけ遅れている様だ。

◆眺めの良い焼額山ゴンドラ駅前で昼食を摂った。奥志賀の主 10/15、10 峰岩菅山と鳥甲山に挟まれた奥に判りやすい苗場山が横たわっていた。こここのところ雨続きの天候だったので久々に太陽の光と温もりを感じることができた。

◆稚児池は静けさを保ち波ひとつ無く青空をそのまま映していた。ハイカーも2組程度でお互いに静観。

◆白樺苑は白樺池を中心にその白さを無数に誇り、黄や紅の葉の点在がよく似合う散策路だった。

広々とした館内レストラン「サンクリストフ」で美味しい夕食を終え、歴史的にも由緒ある多目的ホール「クルックサークル」のピアノを借り、持参のハーモニカも加わり楽しい食後の演会となった。オフシーズンなので他に宿泊者はいない。

10/16(日)

晴れなので良く冷えた。外は氷点下となり我々が起きた時には玄関先の温度計は1℃を指していた。昨日と同じに快晴だ。ありがたい。

昔は雑魚(ざこ)川溪谷と称されていたが、わたしの先輩たちが散策路を開発整備し、名を「奥志賀溪谷」に改めた。主要な滝として大滝(おおぜん)、三段の滝、ハーモニカの滝などであるが、それらの名称は以前からのままで残している。

◆雑魚川取入口への入口まで宿のマイクロバスで送ってもらった。広々とした散策路を下ること 20 分、吊り橋を渡ると東京電力の雑魚川取入口に着いた、が、そこからの散策路はどこにも見当たらず地形図には吊り橋手前左岸に散策路は記されている(道が流され絶壁)、この状況では戻るしかない。来る時に目立たないテープがあったことを思い出し、そこまで 10 分ほど登り返した。テープ地点から入り込むと散策路の本道となった。

◆大滝(おおぜん)

おもしろい読み方のうえ面白い形の滝だ。とても文字では説明し切れない奇妙な美しい大きい滝だった。

◆三段の滝

今度はどこにでもありそうな名称。唯一違うのは川床が見事なグリーンタフであること。

◆ハーモニカの滝

洒落た名称に敬服。およそ川幅 30m くらいに落差 3m の形状がハーモニカのごとく、で名付けられた様だ。ハーモニカを取り出しての合唱は織り込み済み、ブナの原生林を大バックに滝との共演がとても素晴らしかった。

約束した宿の車との待ち合わせ時刻 10 分前に着き、宿まで送ってもらい食事をいただき、残すは琵琶池遊散策となった。深い青緑の湖面に反射する陽の光がまぶしくきれいだった。適度に冷えた身体を温めたくれたのは幕岩温泉でバスタオル・ジュース付きがありがたい。喉を潤す仕事もシッカリと行い帰路へと向かった。